

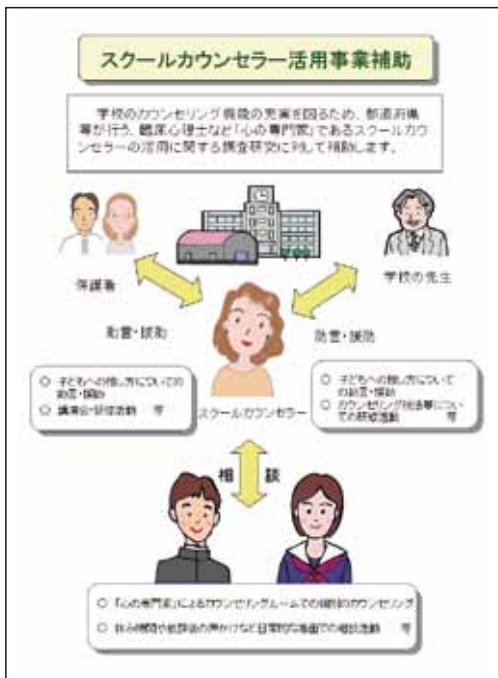


那須 英二 議員

日本共産党弥富市議団

問 子どもたちの心のケアを!

答 関係補正予算を上程



問 昨年の中学校で起きた事件の要因を市はどのように捉えているか。

答 (教育部長) 再発防止を中心に協議している。

問 第三者委員会での分析は。

答 関係資料の読み込み、関係者からのヒアリング等を行い、議論を深めている。

問 市の再発防止策は。

答 「命の大切さ」を授業や生活の場面で伝えていく。

問 特別支援学級や不登校などの傾向は。

答 小学校の不登校が増加。

問 誰ひとり取り残されない学校環境を作る方策は。

答 多様な価値観を認め、居場所づくり等の道德教育を実践する。

問 少人数学級の早期実現に向けた思いは。

答 子どもたちの、より良い教育環境実現のため、要望を続けていく。

問 スクールカウンセラーを、常勤配置する必要があると思うが。

答 学校・保護者の要望に応え、必要に応じ順次配置を増やすよう検討。

問 市長の考えは。

答 (市長) 子どもたち、保護者、教職員の心の負担を減らすため、必要性を強く認識。

問 少子化に対抗するための方策は

答 「選ばれるまち」を目指す

問 今後の対策と目標は。

答 結婚・出産・子育てがしやすい環境づくりに取り組む。

問 学校・保育所の給食費引き下げの考えは。

答 (健康福祉部長) 給食費は据え置く考え。

問 3歳未満時の保育料を引き下げる考えは。

答 考えていない。

問 育休退所解消の考えは。

答 必要な保育士が確保できないため難しい。

問 大学の学費に対する認識は。

答 (市長) 大学は、「学問や研究」をすることで、学費は授業料等の対価と考えるが、上昇傾向にある。

問 支援する考えは。

答 独自支援は考えていない。

問 少子化に対して市長の認識と対策は。

答 結婚や出産を機に転出が多い傾向にあるが、「選ばれるまち」を目指す。